

特別賞

地球温暖化を防ごう

港南小学校 椎名 優衣

「こら。見てないなら、テレビを消しなさい。」

また、母が怒った。私は、うるさいなあのため息をついた。母は、節約家で悪く言えばちんぼだ。母は、水の出しっぱなしをしないことや、エコバックを持ち歩いたり、テレビのプラグもすぐ抜いている。考えてみると、母は、環境にとって偉いことをしている。

私が普段何気なくしていることが地球のために役立っていることがある。例えば、電気を使いすぎないことや車を使わず自転車や電車を使うことだ。地球温暖化は、二酸化炭素を多く排出すると起きる。主にゴミや車の排気ガスだ。ゴミの問題は、日本でも前から課題となっている。みんながゴミを減らそうと努力した結果年々ゴミが減ってきた。だから私も、買い物をする時に、レジ袋ではなく、エコバックや、自分のバックを使用している。バックだと何回も使えるので再利用になり、よい取り組みだと思う。昔は、バックの代わりにふろしきを使っていた。ふろしきは、色や結び方があるため、形や大きさが違った物も入る。また、軽く、すぐに折りたためるため、便利だと思う。昔は、ランドセルではなく、ふろしきで登校していた。これからは、昔を見習い、ふろしきや折りたためるバックなどを使っていきたい。

また、ペットボトルではなく水筒を持ち歩くようにしている。ペットボトルは、すぐに飲めるし、軽いためとても便利だと思う。でも、水筒を持ち歩くことで何度も使えるし、保冷や保温も出来る物もある。今、ペットボトルで飲み物を飲んでいる人が多いため、私もみんなと同じがいいと思うことがよくある。でも、これからの地球のことを考え、少しの我慢も必要だと思う。

私は、前読んだ「ツバル」という本で、地球温暖化のため沈んでしまう国のことを始めて知った。私たちは、困っているツバルを助けなければならぬ。本の中であなたの出来ることが5つ書いてあった。電気の節約、水の節約、ゴミを減らすこと、買い物物のしかた、世界に目を向ける人々を増やすことだ。ツバルの国の人々の宝物は、夢、景色や水、人と人とのつながりだ。私は、家族や友達が大切だ。これからは、国のこと地球のことも大事に考えたい。

私たちの身近な努力できっとツバルの子供達が笑顔で

「ありがとう。」

と、言ってくれると思う。

学校で、節電シールをもらってきた。私は、あらゆる所に、スイッチ off のシールを張っている。少しずつ環境に対して目を向けるようになっていた。今の私は、家族で一番エコに対してうるさいと思う。